

第 444 回集談会

1. 日時：2013 年 7 月 29 日（月）16:30～
2. 場所：2A 講義棟（中央棟 2 階）
3. 座長：薬理学教室 教授 丹野 孝一先生（内線 3701）
4. 演者：機能形態学教室 准教授 米澤 章彦先生（内線 3709）
5. 演題：「射精障害の薬物療法：新たなエビデンスの構築と治療の展望」
6. 要旨：今年 3 月、「第 23 回日本性機能学会東部総会」を本学において開催させていただきました。これまで長らく男性性機能、特に射精の生理学ならびに薬理学を中心とした基礎研究に取り組んできたことから、シンポジウムでは「射精障害の治療を考える」をテーマに掲げ、5 名の先生方（基礎 1 名、臨床 4 名）に講演いただいた。内容は、将来「日本性機能学会」が中心となり策定しなければならない「診療ガイドライン」のたたき台となることを意図したものであり、疾患別に最新の治療方法が紹介された。

本集談会では、このシンポジウムで我々が行った基礎研究から臨床医学へと繋がった二つのケースを紹介するとともに、今後の治療の展望について最新の基礎データを紹介しながら考察したい。